

Our Foundation | 三井E&Sグループの事業基盤

理念、人、技術。そして培ってきたネットワークが、
三井E&Sの事業を支えています

企業理念

社会に人に信頼される ものづくり企業であり続けます

事業規模



売上高

7,032 億円

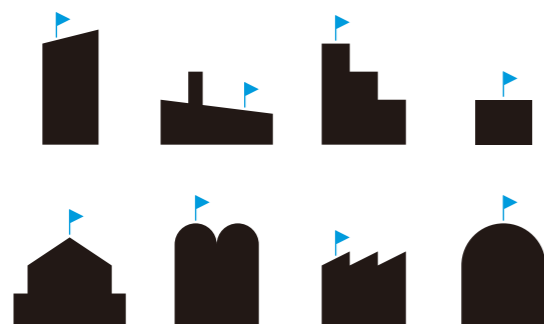
経常利益

31 億円



従業員数 (2018年3月31日現在)

13,421 人



グループ会社数

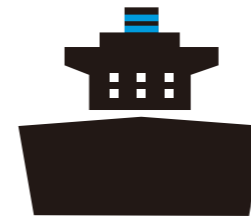
100 社以上



創業

1917 年

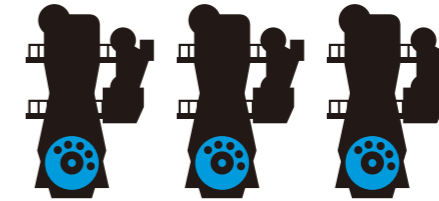
実績



船舶

建造実績通算

2,000 隻



船用ディーゼルエンジン

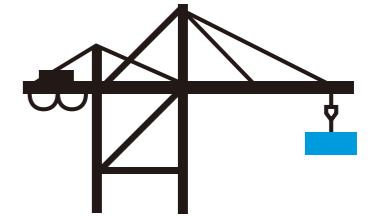
国内シェア

No.1

累計生産台数

6,500 台

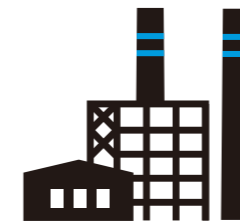
1 億馬力



港湾用コンテナクレーン

国内シェア

No.1



石油化学プラント

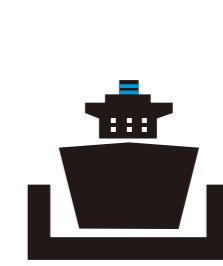
納入実績世界40カ国以上で

1,300 件



アフターサービス拠点数

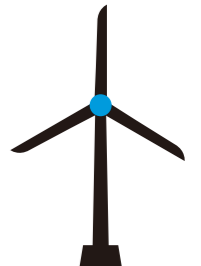
世界 20 カ国 35 拠点



修繕ドック

MES-KHI 由良ドック

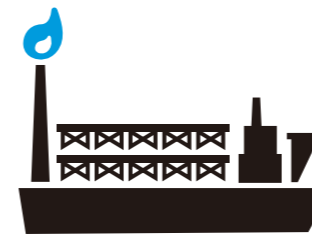
国内最大級
乾式ドック



風力発電

風車建設・製造

234 基



FPSO*事業

三井海洋開発株式会社

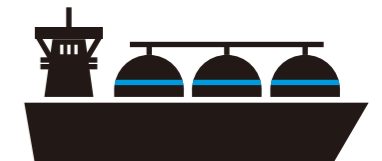
世界 2 強



発電プラント

Burmeister & Wain
Scandinavian Contractor A/S 納入実績

世界 54 カ国 184 基



小型ガス運搬船

TGE Marine Gas Engineering GmbH

世界的
エンジニアリング会社

*浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備

時代のニーズに応え、変化を続けてきた100年の歴史。 そして、新たなるステージへ

Origin 原点

旧 三井物産 造船部として 誕生

“海国タル吾国ハ、
立国ノ基礎
自然ニ海運ニ帰スルハ
当然ナルニ依リ —— ”

1917年、造船および修繕工場の必要性を痛感した当時の三井物産(株)船舶部長の川村貞次郎は、社長に造船所設置の陳情書を提出します。この熱い想いから三井E&Sグループは始まりました。



川村 貞次郎

1917-

日本の近代化という使命とともに
創業以来、造船業を牽引

日本の近代化への挑戦

誕生以来日本の造船業のリーディングカンパニーとして歩みます。



1924年 日本初となるディーゼルエンジン搭載の赤城丸を建造

船用ディーゼルの技術導入

1926年、デンマークのパーマイスター・アンド・ウェイン社(B&W)とディーゼル機関の製造販売実施契約を締結。1928年には三井B&Wディーゼル機関の1号機が完成します。

陸上部門への進出

1930年代、レーヨン工場建設や各種装置、鉄管の製造に携わります。これがその後の化学工業装置の分野や鉄構分野へ進出する素地となります。

独立分社と三井造船への社名変更

1937年、造船部は(株)玉造船所として、旧三井物産(株)から分離独立しました。本店本部、神戸営業所、病院、総務部、工務部の5部門で独立会社としての第一歩を踏み出します。



1952年 玉工場

1950-

事業領域を拡大
総合重工業メーカーへの成長

プラント建設分野への進出

1955年に発足した三井石油化学工業(株)のプラント建設に携わります。これがその後の石油化学プラント建設の第一歩となります。



1958年 三井石油化学工業(株)岩国工場向けNo.1エチレンプラント

鉄構事業の創設

鉄構部門の生産体制が確立。道路橋においては中小橋梁からはじまり、日本道路公団などの大型橋梁を受注できるまでに成長します。



1976年 泉大津大橋

運搬機業界への進出

1961年、アメリカのパセコ社と技術提携契約を締結。コンテナリゼーションの普及とともに国内外に多くの港湾クレーンを納入します。

回転機事業の拡大

1960年代からヨーロッパの先進技術を導入し、遠心圧縮機、往復動圧縮機部門へ進出。その後も技術革新を続け、軸流圧縮機や蒸気タービンなども手掛けます。

2000-

グローバル化への対応
持続的成長を目指して

省エネ・環境対応技術の強化

環境対応船・省エネ船需要の高まりに応え、次世代の環境対応・低燃費船や、国際的な排ガス規制に対応した船用ディーゼルエンジンなど、環境対応製品を開発します。



環境対応・低燃費型バルクキャリア「neoシリーズ」

三井海洋開発(株)の上場

2003年7月、三井海洋開発(株)が当グループとして初めて東京証券取引所に上場を果たします。翌年6月1日には、同所市場第一部指定銘柄となり、現在も躍進を続けています。



2004年 三井海洋開発(株)が一部指定銘柄へ

MES Group 2025 Visionの策定

2016年、グループのありたい姿を示す長期ビジョンを策定。既存の事業の枠を超え、社会の課題やマーケットのニーズに対して価値あるものを提供する姿勢を描きました。



2017-

次の100年へ
三井E&Sグループ始動

創業100周年

2017年11月の創業100周年を機に、様々な変革に取り組んでいます。



持株会社体制への移行とともに、 商号を「三井E&Sホールディングス」に変更

2018年4月、持株会社制へ移行。グループ経営の深化を加速させるために、船舶事業、機械事業およびエンジニアリング事業を、それぞれ事業会社として分社しました。合わせて、商号を「三井E&Sホールディングス」に変更し、新生・三井E&Sグループとして新たな一歩を踏み出します。



三井E&Sグループ統一ロゴマークを策定

ディーゼルエンジンの累計生産、1億馬力を達成

2018年6月、単一機種によるディーゼルエンジンの累計生産1億馬力を達成しました。2005年10月(1号機製作から77年4ヵ月)に累計生産5,000万馬力を達成してから12年8ヵ月で5,000万馬力を上乗せし、1928年の1号機製作から90年を経て累計生産1億馬力を達成しました。



1億馬力該当機 三井-MAN B&Wディーゼルエンジン「11S90ME-C10.5」

個々の機動力を高めるとともに、 グループの総合力を発揮する体制を構築

持株会社



株式会社三井E&Sホールディングス

各事業会社およびグループ内各社との連携体制の強化に取り組めます。また、当グループの長期ビジョンで成長戦略としている3事業領域への経営資源の集中などのグループ全体の戦略立案を通じ、企業価値の向上と成長性、収益の安定性の確保を図ります。

主な事業・グループ会社

- 三井E&S造船株式会社
- 株式会社三井E&Sマシナリー
- 株式会社三井E&Sエンジニアリング
- 株式会社三井E&Sビジネスサービス
- 三井E&Sシステム技研株式会社
- 株式会社MESファシリティーズ
- 三井海洋開発株式会社
- Burmeister & Wain Scandinavian Contractor A/S
- 昭和飛行機工業株式会社
- 株式会社加地テック
- Mitsui E&S Asia Pte. Ltd.
- 三井E&S(中国)有限公司

主要事業会社

三井E&S造船株式会社

ばら積み貨物運搬船、タンカー、LNG(液化天然ガス)運搬船、環境対応型の次世代船をはじめ、防衛省向け艦艇や海上保安庁向け巡視船など、最新鋭の船舶を建造しています。また、次世代型FPSO(浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)船体の開発や、水中ロボットなどの海洋機器開発を通して海洋資源開発にも積極的に取り組んでいます。

主なグループ会社

- MES-KHI 由良ドック株式会社
- 株式会社三井造船昭島研究所
- 三井造船特機エンジニアリング株式会社
- MES SHIPPING株式会社
- 四国ドック株式会社
- 新潟造船株式会社
- TGE Marine Gas Engineering GmbH

主な製品

商船



艦船・官公庁船



水中機器



株式会社三井E&Sマシナリー

船舶用ディーゼルエンジンや往復動圧縮機をはじめとした各種産業機械から、港湾クレーンなど、産業や物流を動かす心臓部となる製品を設計・製造しています。また、社会インフラ分野では、橋梁、海洋構造物などの技術で社会基盤の整備、快適な都市づくりに貢献しています。

主なグループ会社

- 株式会社三井E&Sパワーシステムズ
- 三井ミーハナイト・メタル株式会社
- 三造加工株式会社
- 株式会社三井E&S鉄構エンジニアリング
- 株式会社三井E&Sテクニカルリサーチ
- ドービー建設工業株式会社
- 株式会社アヅママシナリー
- Paceco Corp.
- PT.MES Machinery Indonesia
- CSSC-MES Diesel Co., Ltd.
- 上海三造機電有限公司
- Mitsui Zosen Technoservice Hongkong Ltd.
- 台湾三造工程股份有限公司
- MES Technoservice Middle East W.L.L.
- MES Technoservice Machinery Construction Logistics, Industry and Trade Corporation

主な製品

船舶用ディーゼルエンジン



港湾クレーン(運搬機)



産業機械



株式会社三井E&Sエンジニアリング

国内外で様々なプラント設備のEPC(設計、調達、建造)事業を行っています。グローバルな4つのメガトレンド「気候変動、環境保護、エネルギーと資源の争奪、人口動態の変化」を重視し、関連する幅広い分野でEPC事業と発電事業、事業投資・周辺サービス事業を複合的に展開しています。

主なグループ会社

- 三井E&Sプラントエンジニアリング株式会社
- 三井E&S環境エンジニアリング株式会社
- 三造有機リサイクル株式会社
- 浜松グリーンウェーブ株式会社
- 市原グリーン電力株式会社
- 別海バイオガス発電株式会社
- DASH Engineering Philippines, Inc.
- Engineers and Constructors International, Inc.

主な製品

化学プラント



風力発電施設



バイオマス発電プラント



私たちの力を必要としている地球規模の課題へ、 技術をつなぎソリューションを提供

環境・エネルギー

再生可能エネルギーの創出や、海洋資源開発への参画で、持続可能な地球の未来に貢献します。

風力やバイオガス、バイオマス発電プラントなどの再生可能エネルギー創出や、FPSO(浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)による海洋資源開発への参画など、多様なエネルギー創出を、更にノウハウとリソースを集めて強化します。

主な製品

- 海洋開発・水中機器
- 再生可能エネルギー
- 環境プラント
- 発電プラント

グループ総合力を発揮した総合ソリューション事例

海上を動く発電所で、世界のどこへでも、電力供給を実現。

浮体式発電システムの提供

子会社であるデンマークのBurmeister & Wain Scandinavian Contractor A/Sとともにディーゼルエンジンと発電機を搭載した浮体式の移動式発電所(発電バージ)を開発・製造。現地での資材調達、労働力確保が難しい地域や送電網が整備されていない地域での安定的な電力供給に貢献しています。



発電バージ

海上物流・輸送

サプライチェーン全体に精通したプロフェッショナルとして、海上物流・輸送に更なるイノベーションを起こします。

船の建造をはじめ、コンテナクレーンなど製品の提供、ITによるエンジン管理、コンテナターミナルのマネジメントといったサービスの提供まで。グローバルなサプライチェーン全体に精通した海上物流のプロフェッショナルとして、更なるイノベーションを実現します。

主な製品

- 港湾クレーン
- 船用エンジン
- 船舶

天然ガス輸送ニーズにワンストップで応える。

天然ガス輸送プロジェクトの上流から下流に至るまで一貫したソリューションを提供

子会社であるドイツのガス船エンジニアリング会社TGE Marine Gas Engineering GmbH(TGE)とともに、中小型のガス運搬船市場の開拓を進めています。今後需要の増加が見込まれる中小型船の開発をはじめ、EPCS事業(設計・機器調達・製造監理)を多数手掛けてきたTGEからそのノウハウを学び、ガス船建造の上流工程へと進出していきます。



中小型ガス運搬船

社会・産業インフラ

新興国には、発展に不可欠なプラント設備・交通インフラを提供し、国内・先進国には、インフラの保全技術で安全安心に貢献します。

新興国には橋梁や発電プラントなどの社会インフラ、化学プラントの建設などを。国内ではインフラの老朽化対策として私たちの保全技術を。グループが持つ複数の製品技術の融合と、外部との積極的なコラボレーションを進め、新たなソリューションを提供します。

主な製品

- インフラ保全
- 橋梁
- 化学プラント
- 産業機械
- 国防・保安

社会インフラを守る総合病院へ。

調査・診断から補修・更新までワンストップのサービスを提供

2015年、「社会インフラ総括部」(現 三井E&Sマシナリー社会インフラ事業部)を新設。リソースを統合し、更に社外とも連携することで、社会インフラの調査、診断、補修・更新までのワンストップサービスを提供していきます。グループ内に鉄とコンクリート双方の技術・経験を持つことの強みを活かしたサービスを提供していきます。



複合探査車